

第13号 2002年11月10日

発行 医療法人社団健友会 / 健友会友の会
〒164 0001 中野区中野5 44 3
TEL 03 3387 3051
FAX 03 3388 1381
編集 「健友(けんゆう)」編集委員会
ホームページアドレス www.kenyu-kai.or.jp/



中野新橋 青山豊次・画
神田川に架かる橋。朱塗りの欄干に金色の親柱がめだつ。右が川上。

健友

実施から2年半

介護保険でなにが変わったか？

利用者の声

戸田しず子さん(95) 負担だけが増えた



戸田しず子さんと訪問看護師の高根啓子さん

西荻窪診療所の患者さんである戸田さんは、介護保険を最初から利用しています。はじめは要介護3でしたが、一年前に家の中で転んでから要介護5になりました。同居している長女の裕子さんが、四年前に服飾雑貨の店を閉めてずつとしず子さんのお世話をしています。週三回ヘルパー、週三回「西荻南訪問

北森慶子さん デイケアで明るく



北森慶子さん

「お食事がとてもいいですね、六階のお風呂からは新宿の高層ビルが見えるんですよ。ニコニコとうれしそうにデイサービスのようすを話す北森慶子さん(89)。



実川マキさん(83) 部屋代が払えない

中野区の老人用賃貸マンションで一人暮らしの実川さん。週二回「ほと」とのヘルパーさんに来てもらい、週一回中野共立診療所の通所リハビリに通っています。

高部 君さん ショートステイを利用



高部高明さん

の患者さんで、要介護3。遺族年金で一人暮らしです。半年前から毎週一回ヘルパーさんが家事支援に入り、週二回「デイサービスセンター/和田堀ホーム」に通っています。一カ月の利用料は、一万二七〇円ほど。

話題

社会保障ひとすじに

天沼診療所と杉並年金者組合の生みの親

横山行雄さん(79)

横山さんは、六〇年安保」の年に天沼診療所を建設。初代事務長になった人です。そして、杉並年金者組合の生みの親、育ての親でもあります。



を余儀なくされました。以来、社会保障ひとすじ」の道へ。杉並高齢者集会、杉並社協との関わりも深く、元気なうちにこれらの歴史をまとめた「と燃えています。東京千駄ヶ谷生まれ。七歳から杉並に。趣味は読書(天沼診友の会・山本芳郎)

値上げなしで利用料の減免を

城西診療所 婦長 ケアマネジャー

江浦孝子さんの話

介護保険がはじまってから、私たちケアマネジャーが区の仕事をやるようになったんですね。私はいま午前中をケアマネジャーの仕事に当てて、三四件のプランを立てています。ヘルパーの依頼やデイケアの申し込み、車椅子やベッドの手配まで、業者に連絡したり、たくさん書類を書いて送って、すごい仕事量になります。そのうえに、「ネズミ



江浦孝子婦長

でも、北森さんのように外に出る機会を得られず、高部さんのようにショートステイの利用で介護者が息抜きできたりなど、介護保険になった利点は大きいですね。問題はお金です。実川さんのように介護保険料が年金から引かれたり、利用料が高くてお金がかねば利用できないという矛盾は、なんとしても解決しなければならぬと思います。

わたし

東京の街路樹が色づきはじまりました。暦のうえでは立冬ですが、いまが秋たけなわです。この時期、杉並から中野へかけて町の中を気をつけて見ると、柿の実の色づいているのをよく目にします。江戸時代、このあたりは新宿などへ柿を出荷する産地でした。住宅が密集している現在から考えると、不思議な思いがします。一〇月から「医療改善」の高齢者版がスタートしました。秋の空は高く澄みきっています。病をかかえた高齢者の気持ちは重い。医者に運ぶ足も重く、財布の軽さを気にしながらではついつい足も遠のきます。健友会と友の会は、かけがえのない命と健康、「受診や治療を控えず、治療費についてはまずご相談を。そして力を合わせて医療大改善をはねかえそう」とアピールを出しました。小泉改造内閣の中心にアメリカがぶれの経済学者が再び席を占め、アメリカ流弱肉強食の政治がいつそうすめられそう。地域での助け合いの活動と同時に、大きく政治のあり方を変える運動が求められます。とびきり明るい話は二人のノーベル賞受賞。とりわけ普通の会社員・田中耕一さんの言葉、表情、しぐさがいいですね。(い)



琉球舞踊

共立友の会 南 すい子

九月二十九日〜一〇月一日、健友会友の会の沖縄平和ツアーが行われました。参加者は二十九人。沖縄での強烈な印象を、作品や談話でお寄せいただきました。

ツアー隊長 吉田一人
アマイといわれるかも
しれませんが、ツアーの
では二〇〇点ですね。
好天に恵まれ、三日間
で名護・辺野古から伊江
島、南部戦跡までという
強行軍でしたが事故もな
く、おまけに台風で帰り
が一日延長になったもの
の、沖縄はキラキラ天気
で、ゆったりと沖縄を楽
しめました。
なんといつてもお二人
のガイドが抜群でした。
大城保秀さんは大学なみ
の沖縄問題現地講座。バ
スガイドの浦添則子さん
は復帰運動に参加した自
分史を語り、沖縄返還の
時の歌を歌って、私たち
の心に沖縄の心をしみこ
ませてくれました。

俳句

西荻窪診療所

田岡 貞枝

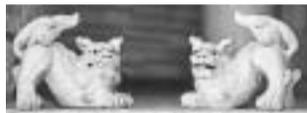
仏桑花住居跡なる資料館
天高し象のオリてふ通信所
むくげ咲く韓国人の慰霊塔
人骨を照らす明りや洞(ガマ)の冷え
喜屋武岬眼下に群れて秋つばめ

教わった。わ
あきらめてそれをのみや
が家の一夜漬
げにした。(写真のシーサー
けの島ラッキ
ヨウとお土産
の泡盛で「沖
縄を返せ」を歌いなが
ら、夫婦で沖縄の平和へ
の思いを語り合った。思
い出の宝が、また一つ増
えた。

共立友の会 榎本 博
沖縄の蒼い海の美しさ
に魅了された。とくに名
護市辺野古集落の海の蒼
さはすばらしかった。こ
のジュゴンが住む珊瑚礁



健友会友の会の
沖縄平和ツアー

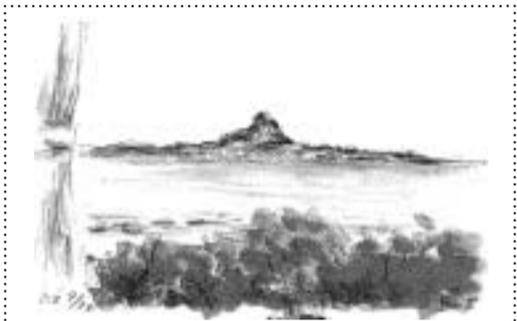


シーサー(左が雌、右が雄)

共立友の会 飯島 登
情報の中から沖縄へ行っ
た。拉致つて人さらにい
やないの。沖縄は島ごと
拉致されている。一三〇
万人の命運をアメリカ軍
に握られている。

共立友の会 菅井 巨
医療法人健友会 末廣 進
伊江島で謝花悦子さん
が語った阿波根昌鴻さん
の、本土にはない考え方
に感動し、著書を二冊買
つて読んだ。
雌雄一対のシーサーに
なぜか心惹かれ、泡盛を

健友会友の会 高橋 力
公設市場の八百屋さん
で島ラッキョウを買って
「食べる分だけ一夜漬け
するんだよ」と食べ方を



伊江島(ホテルの窓から)

西荻診友の会 菅井 巨

短歌

桜山友の会 福士 リツ

国内飛行にノカデナラブコンへ許可を請う/見捨て
られた島/沖縄の空
*カデナラブコンとは米軍の管制塔のこと
ドーム型格納庫はノ一棟四億円/思いやり予算でノ
「こんなところに税金が
ジユゴン住む/辺野古の海はライトブルー/砂浜に
白い珊瑚をひろう
糸数塚のノ真間の中をソロリと行く/水される壁の
そばにノ今も人骨
ガマの中ノ兵は安全な一番底ノ住民は追われノ慰安
婦は空見える辺に

共立友の会 大橋忠子
ツシユで明るい人々にも
心打たれました。

共立友の会 森 美子
米軍基地や戦跡は想像
以上にひどいものでし
た。米軍には一億八〇〇
〇万円もの思いやり予算
が投入されているそうで
す。これを福祉や医療に
まわせばいいのにと私は
思います。

共立友の会 柳田すね子
沖縄へ行つて、ほんと
うによかった。楽しかつ
た。いろいろ見学や勉
強ができて。洞窟の中
では、亡くなった人たち
の気持ち伝わってきた。

共立友の会 山田綾子
沖縄戦は思ったよりひ
どいと、びっくりしまし
た。私も戦争末期には挺
身隊に入っていたので、
同年代の人たちの気持ち
を思うと、いまも涙が出
てきちゃいます。

共立友の会 中村梢子
米軍基地のあるところ
では、反対運動がすこい
なと思いまし
た。

共立友の会 菅井 巨
西荻診友の会 菅井 巨

共立友の会 大橋忠子
マ)など、いいところを
見せてもらいました。で
も、サトウキビ畑が荒れ
果てていたのはがっか
りしました。

共立友の会 山田凡平
一度平和ツアーに行き
たかった。今回の旅
行に参加してほんとうに
よかったです。

共立友の会 鈴木省二
沖縄の秋を楽しみなが
ら、「戦争と平和」のこ
とを考えました。首里城
の中を車椅子ですべて見
られたことにはたいへん
驚きました。

共立友の会 木村ケイ
いまも戦争と隣り合わ
せにいる沖縄を実感しま
した。あれほど残忍で悲
しい戦争体験があるか
ら、カラフルな自然も、
首里城や万座毛などの景
勝地も、伝統工芸や音楽
も、平和への思いを鮮烈
に訴えているように思え
ます。そして、エネルギー
の行機は楽しかった!

共立友の会 菅井 巨
西荻診友の会 菅井 巨

共立友の会 菅井 巨
西荻診友の会 菅井 巨

共立友の会 本山澄子
ガマ(地下壕)の中の
戦跡にふれ、戦争の恐ろ
しき、怖さを体験しまし
た。戦争のことを正しく
伝えていくために、大勢
の若い人たちにこうした
体験をしてもらいたいと
思います。

共立友の会 八木マツ
沖縄は遠かった。でも
もういつペン行きたいと
思うよ。米兵に一人も会
わなかったのは不思議だ
つたねえ。三〇年前、沖
縄返還運動で私もずっと
歩いたのよ。

共立友の会 安斎 登
西荻診友の会 安斎 登
とてもよい旅行でし
た。沖縄のことは知って
いたつもりでしたが、実
際に見聞きして驚きまし
た。早く米軍がいなくな
つて、平和な島にしたい
ですね。

共立友の会 菅井 巨
西荻診友の会 菅井 巨

共立友の会 菅井 巨
西荻診友の会 菅井 巨

友の会

病院診療所

切実な思いをアンケートで

桜山診療所友の会

桜山診療所の待合室は、一〇月からの健康保険法改悪の話でもちりとなつていきました。桜山友の会では、班会を開いて交流・学習を深める活動にとりこんでいますが、切実な思いがつきつきと語られています。「病気になるれない」「年金だけでは暮らせない」「病院に行く回数減らさなければ」「ヘルパーさんを断らうかしら」などなど。友の会ではより多くの声を拾い上げるため、「待合室アンケート」を実施。半年後、一年後にも同様のアンケートを行い、長期にわたる医療改悪反対運動を強め、私たちの暮らしを守ることを話し合っています。(小森合)

医療学習会に19人が

江古田沼袋診療所友の会

沼袋友の会では一〇月一六日水、「医療学習会」を診療所の二階和室で開き、一九名が参加しました。講師に健友会の山下組織部長を招き、医療改悪阻止への運動の経緯や、一〇月一日からの老人医療の影響などを話し合いました。参加者からは「これからは毎会計が違うので、安心して受診できない」などの不安の声が出ていました。(中西)

10月1日、診療所は混乱

中野共立診療所と共立友の会

中野共立診療所と共立友の会では一〇月一日、二日、職員と友の会役員が「医療改悪撤回」を要求する署名と友の会入会の呼びかけを行いました。高齢者の医療費が二割(または二割)負担になったことを知らないで来院する方、医療証を忘れて会計で困っている方、薬局でもお金がかかると

新しい往診車が来た!

城西診療所



一〇月三日、城西診療所に新しい往診車がやってきました。スズキのスイフト君・1300ccです。スイフトというのは、アマツバメ・迅速な・回転するの意味だそう、あの「泣く子も黙る安さ」のコマースヤルで有名なヤツ。軽自動車と比べると税金が高いのが玉にキズですが、音が静かで患者さんも乗り心地がよいと思われます。(小沼)

透析懇談会で

桃井診療所

一〇月二〇日(日)、桃井診療所では患者二名、家族一名、職員七名の参加で透析懇談会を開きました。事務局長が「健保法改定の概要について」、伊藤所長が「緊急・災害時の対応について」を報告すると、患者さんからは医療・福祉分野から撤退をはかる石原都政への不安や、たいへんでも実のある避難訓練の実施と避難設備の充実を求める発言がありました。懇談の中では、「患者の痛みや状態を公式」にあてはめて考えてもらいたくない。一人ひとり個性が強いというところを理解してほしい」などの声が出され、職員の反省会で「患者さんの声を謙虚に受けとめよう」と話し合いました。(菊地)

真夏の友の会総会

天沼診療所友の会

暑い暑い八月二八日、天沼診療所友の会の二〇〇二年度総会が開かれ、職員もあわせ総勢二〇名ほどが診療所三階をいっしょにしました。総会後は懇親会。参加者の自己紹介では、住んでいる場所や天沼診療所とのつながりなどが話され、同じ地域に住んでいるもの同士、初対面でも共通の話題が多くあり、新しい発見もあり

「安心して在宅療養へ」

回復期リハ病棟(4階)がスタート

中野共立病院

中野共立病院の四階病棟が回復期リハビリ病棟に生まれ変わり、一〇月から正式にスタートしました。ベッド数は三三床です。

この病棟では、回復期に入った患者さんの寝たきり予防と自宅復帰をめざし、自宅での生活を意識した計画のもとにリハビリ訓練を行います。対象となるのは、脳血管疾患・脊髄損傷、大腿骨などの骨折、外科手術後や肺炎治療の安静のため、足腰の筋力が弱



リハビリ訓練中の石岡ツヤ子さんと理学療法士の山田政志さん。円内は志田美和子婦長

た方です。齊藤行弘病棟医長は、「いままでの中野共立病院では、ゆっくりリハビリを行うための入院ができませんでした。安心して在宅療養に移りたいという要求にこたえるためにリハ病棟をつくりました。入院中の服装も、朝起きたら普段着に着替えてもらっています」と家庭生活復帰を意識したと

りくみと意気込みを語ります。新任の志田美和子婦長は、「ゆったりと在宅療養に向けた看護ができ、スタッフ一同はりきっています」と民医連らしい病棟づくりに意欲を燃やしています。

職員人事

10月から
桃井診療所
看護師 五日市由美子
11月から
中野共立病院2階病棟
看護師 古谷かつ子
中野共立病院4階病棟
婦長 志田美和子

医療改悪から一カ月

往診断る人、回数減らす人も

一〇月一日から七〇歳以上の方の医療費自己負担が一割または二割になり、同時に薬代も一割負担になりました。いのちと健康を守る医療に、いっそう差別が持ち込まれている実態が明らかになってきています。

中野共立診療所に来診されたご夫婦の患者さんは薬局でもお金がかかることを知り、肩を落とされていました。また、二割負担になった方から「死ぬというこね」とポツリ。切実な会話が交わされています。

さらに深刻なのが在宅患者さんです。二回の往診でいままでの一七〇〇円が三倍以上に。桜山診療所では「人からお金を借りてまで往診してもらいたくない」と往診を断る人が出ています。ある在宅酸素の患者さんは、

請求書を見たヘルパーさんから電話で怒鳴られた(沼袋診)、息子に車イスで連れて行ってもらったから」と往診を断られた(川島診)など、往診を断る人、月二回を一回にしてほしいと訴える人が、各診療所とも五、六件報告されています。

医療・福祉の制度 知って得する

住宅改修への給付

介護保険制度では、居室介護のために住宅改修をした場合、給付対象と認められるものについては九割が、申請により支給されます。

介護保険では最高20万の9割が支給される

介護保険制度では、居室介護のために住宅改修をした場合、給付対象と認められるものについては九割が、申請により支給されます。

介護保険住宅改修で超過した分については、「設備給付」の制度があります。浴槽の取り替え、流し・洗面台の取り替え、便器の洋式化が対象になります。

「設備給付」「予防給付」の費用負担は、所得に応じてゼロ、二割となります。事前申請が原則で、改修案を元に見積もりを提出し、給付決定された後で工事に着工します。区の相談窓口にお問い合わせ下さい。

「ケア24・齊藤 稔」

紹介します やまと診療所の巻

やまと診療所は、一九六六年(昭和41)に開設されました。一九



小児マヒ闘争の 中で生まれ:

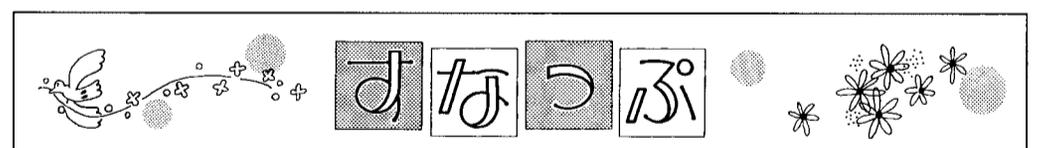
四九年に城西診療所が開設された時、「大和町にもぜひこんな診療所を!」という声がありました。ところが、実現しませんでした。

ヒが全国的に広がり、大和町でも二人の患者が出たこともあって、翌年四月小児マヒ対策協議会が結成されました。この運動の中で、大和町に民主診療所を

36年前に建てられた診療所。近く移転の予定.....

「現在の診療所からあまり遠くない所に」というのが、多くの患者さんの声です。債券目標は大きく突破し、希望の大きさがうかがわれます。

「やまと診療所の会会長・葦澤清子」



ました。後半は、高原事務長のギターにあわせて、「里の秋」「故郷」などを合唱。歌のついでに、予定していたカラオケもはじまり、「これは、カラオケサークルをつくらなきゃねえ」と盛り上がりました。(原)

藤神稲荷神社でお月見会

川島診療所友の会
かわしん友の会は九月二〇日(金)一八時から、藤神稲荷神社でお月見会を開きました。参加者は二十八人。お月見団子とススキを飾り、情緒たつぷりの中で会がはじまりました。まずは一人ずつ自己紹介。その後、コーラスサークルの方と一緒に歌を歌いました。手品、歌などの隠し芸も飛び出し、とくに手品はアンコールの声が出たほど。診療所からは染合事務長が月光仮面」を振り付きで歌い、参加者を

「山友会」がまる三年に

西萩診療所友の会
西萩診療所の会の四つ目のサークルとして

して、会員の親睦と健康増進をと一九九九年一〇月に発足した山友会。まる三年経ったこの一〇月には、一四名の参加で奥日光戦場ヶ原・刈込湖に一泊二日のハイキングを行いました。わずかに色づきはじめた木々の間を抜け、奥日光を一周するコースを、八〇歳から四〇歳までがお互いに助け合いながら歩き通した充実感は、景観もさることながら、参加者一人一人に貴重な経験になりました。(宮下)

はじめての高齢者大会参加

やまと診療所友の会
九月一、二日の日本高齢者大会に、やまと診療所友の会から一〇人が参加しました。その一人、山口恵孔さんの感想を紹介します。(伊南)

全体会で印象に残ったのは、四月にスペインで開かれた国連「第二回高齢者問題世界会議」の報告でした。国連の考え方は、「高齢者問題はすべての世代の問題。社会を変え、人権を保障することが重要である」というもので、深く共感を覚えました。学習講座では「憲法政治と現状」「グローバル化と世界、日本の経済」を聞きました。わかりやすい話で、とてもフレッシュでした。

連載まんが 第9回

コシマルコ

走れ! 訪問看護師



ドクターの素顔

「回復期リハ棟をうまく軌道にのせたい。できるだけ家庭的な雰囲気にとスタッフみんなでがんばっている」と、新しい棟づくりについて語ります。気のせい、四階病棟の患者さんたちの表情は明るく見えます。

「先生のファンが増えますね」というと、「不安は増えなくていい」と軽くかわされてしまいました。「アレツ、斉藤先生って愉快な人なんだ!」

そういえば、共立友の会の旅行で一緒に踊ったり、研修医のころ、「ぼくは豆腐屋の息子です」と楽しい自己紹介をしていたことを思い出しました。

(共立友の会/武藤康子 鈴木加代子)

回復期リハ棟背負う シャイな情熱家

中野共立院 病 齋藤 行弘医師(35)



「回復期リハ棟をうまく軌道にのせたい。できるだけ家庭的な雰囲気にとスタッフみんなでがんばっている」と、新しい棟づくりについて語ります。気のせい、四階病棟の患者さんたちの表情は明るく見えます。

「先生のファンが増えますね」というと、「不安は増えなくていい」と軽くかわされてしまいました。「アレツ、斉藤先生って愉快な人なんだ!」

そういえば、共立友の会の旅行で一緒に踊ったり、研修医のころ、「ぼくは豆腐屋の息子です」と楽しい自己紹介をしていたことを思い出しました。

(共立友の会/武藤康子 鈴木加代子)

医療費が3倍に

天沼診療所友の会 山本 芳郎

私は腎不全で人工透析の直前。そのためたいへんな努力をして食事管理をし、伊藤浩一先生に受診しています。

一〇月から医療費が一割負担になったので、お

三線を習っています

中野共立病院看護学生担当 猪股あかね

三線(沖繩の三味線)について語ります。私にこそ存じますか? 私はことし七月から三線を習っています。最近では島歌を口ずさみながら覚えていきます。

読者のひろば

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真などなんでも)をお待ちしています。

そのおそれる診療所に行きました。診察と同時に、毎月二回造血剤の注射を受けていますが、いままでの八五〇円が今回は一六一〇円と二倍になりました。

そのうえ、薬局で七〇〇円の薬代を支払ったので、結局約三倍の医療費になりました。

いまの病状では、毎月一回の検査は欠かせません。今回の診療では検査があり、いくら医療費がかかるのかと思うと、いろいろ医療食品を買ってたいへんな努力をして食事管理をするより、いっそう人工透析を開始し、障害者になって医療費負担を少なくした方がいいのかと考えると、今回の医療制度改悪は私のように考える人も出てきて、結果的に無駄な医療経費が増え、医療制度そのものをダメにしてしまおうのではないかと考えます。

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真などなんでも)をお待ちしています。

「読者のひろば」ではみなさんからの投稿(手紙、随筆、絵、書、写真などなんでも)をお待ちしています。

私の癒し

共立友の会 武藤 芳子

八月の「共立友の会だより」に、「中野共立診療所の四階にリハビリ室ができ、歌をつたたり、まりを蹴ったり、絵を描いたり、曜日によって催しは異なるが、その中に対面朗読をやっている日がある」と書いてあった。元来、朗読の好きな私はぜひ参加させてもらいたい、と、押しかけ、女房ではないけれど、さつそく四階に行ってお願ひしてみた。

そして毎週火曜日に読むことになり、三回ほどやってみた。時代物を読みたいと思っています。

本の紹介

七月の「健友」一面で紹介した元朝日新聞論説委員・丸山静雄さんの新しい本が出版されました。

本書は、軍隊の教科書「典範令」を戦場から持ち帰り、大切に保存していた丸山さんが五〇年をかけて「典範令」を解読し、日本の軍隊、日本の戦争について調査・研究を続けてきた、その集大成となる力作です。ぜひ一読ください。(す)

新日本出版社発行 三〇〇〇円

中野よもやまばなし

「鷺宮」

中野区中野5丁目 飯島 登



上鷺5丁目にはこんなに大きな煙が.....

上鷺宮、鷺宮、白鷺、若宮をまとめて「鷺宮」といいます。その真ん中に福蔵院と八幡神社があります。

「古は木立生い茂りてあまたの鷺やどりけるゆへ、土地の人鷺森

た。ああ、恥ずかしい。区役所に行つて地図で調べてみたら、上鷺宮五丁目の北西部は海拔四五メートルでした。ちなみに中野駅付近は海拔三〇メートルだそうなんです。

昔、八成山という八町歩もの山(林)があったが、いまは小さな公園(八成公園)になっていて、行つてみると、そこは昔の武蔵野を小さく切り取つたような所で、まるで「武蔵野の保存版」のよう。一見をおすすめします。

「中野区史」などによると、鷺宮地区は中野地区と比べて開発が遅れたとありますが、いまの鷺宮は住宅地の中に畑が点在し、閑静な環境が保たれています。

上鷺で真っ赤な花園を見かけたので、農作業中の篠兼太郎さん(87)に声をかけました。「これはペゴニアですよ」と、篠さんは気さくに農業の話をしてくださいました。

「花の他に、大根もほうれん草も白菜も作っています。農業は落ち葉も堆肥に使うように、捨てるものを無駄なく使つて環境をよくするし、災害の時には広い畑は一時避難場所として役立ちます。これから畑を減らさないようにがんばりますよ。」

「中野区報 昭和のあれこれ」中野区民俗調査 第一次報告」参照

(健友会友の会会長)

「中野区報 昭和のあれこれ」中野区民俗調査 第一次報告」参照

(健友会友の会会長)